

迫桜高等学校

校訓 敬愛 創造 至誠



校章

1 基本データ

創立：平成13年
 課程・学科：全日制課程・総合学科
 生徒数：435名
 所在地：〒989-5502
 栗原市若柳字川南戸ノ西184
 TEL：0228-35-1818
 FAX：0228-35-1822

ホームページアドレス：
<https://hakuou.myswan.ed.jp/>
 電子メールアドレス：
 hakuou@od.myswan.ed.jp
 主な交通機関：栗原市民バス
 石越駅より栗原中央病院ゆき 迫桜高校入口下車 徒歩2分
 くりこま高原駅より石越駅前ゆき 迫桜高校入口下車 徒歩2分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

夢 はばたけ未来へ！

「敬愛 創造 至誠」を校訓とし、命あるものを尊び、豊かな人間性と進取の精神を養い、夢のある未来社会をめざし、創造的に自己鍛錬に励む、心身ともに健全な人間の育成を目標としています。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

県北の田園地帯に位置し、西に栗駒山を望むことができる本校は、栗原・登米地区で初の単位制総合学科の高校として、平成13年4月に開校しました。

本校は、生徒のいろいろな興味や関心、進路希望に対応できるように、人文国際・自然科学(令和7年度より学級減にともない、人文国際・自然科学系列を統合して人文社会系列と名称を変更します)・福祉教養・情報ビジネス・エンジニアリング(機械・土木)・アグリビジネスのそれぞれを学べる系列と多くの選択科目を設定するとともに、さまざまな施設・設備を備えた学校です。

また、県内でも屈指の斬新なデザインの校舎です。一辺が約120mの正方形の二階建てになっており、体育館(アリーナ)が中央に配置され、廊下は最大で幅7メートルもあるなど、視覚的にも考慮された快適な生活空間になっています。

バリアフリー設計で、廊下には段差がなく、エレベーターも設置されています。太陽熱を利用した床暖房も取り入れています。また、令和4年度には各ホームルーム教室にエアコンが整備され、運用されています。

ほかにも、アグリビジネス系列の実習棟が校舎棟向かいにあり、また、マルチメディア型の広い図書館を備えており、一般への開放も実施しています。

(2) 教育方針

- 1 「進路希望の達成」
- 2 「学力の保障」
- 3 「集団の中で自己を磨き自己実現」

特に「きめの細かい進路指導・学習指導の推進」及び「心ゆたかで主体的に生きる人間の育成」に重点的に取り組んでいます。

(3) 教育課程の特色

本校では、100以上の選択科目の中から生徒の皆さんが自分で科目を選択し、「自分独自の時間割」を作ります。科目選択のためには自分の進路を考える必要があります。そのために本校では三つの方法を提供しています。

一つめは、科目選択のモデルを《系列》として示しています。《系列》は、人文国際・自然科学(令和7年度より統合して人文社会に名称変更)、福祉教養、情報ビジネス、エンジニアリング(機械・土木)、アグリビジネスの5つです。この《系列》内の選択科目を参考にして自分の科目を選択することになります。

二つめは、「産業社会と人間」という総合学科独自の教科です。この「産業社会と人間」で科目選択について学習し、また、上級学校ガイダンスなどを通して、自分の将来についていろいろな角度から見つめ、深く考えます。1年次で学習します。

三つめは、「ドリカムゼミ(総合的な探究の時間)」を通して、生徒の皆さん一人一人が3年間継続して自分の進路に向けた課題解決型の学習ができるようにしています。

これら三つの方法により、本校のテーマである“生徒の進路希望達成”を実現しています。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

主な行事：スポーツ大会、迫桜祭、ドリカムプラン発表会、芸術鑑賞会、修学旅行、支部総体、県総体、支部総合文化祭等。

生徒会活動：生徒会は、『生徒が主体となって生徒会活動を盛り上げる』をモットーに、明るく元気に日々活動しています。今、自分たちができる最大限のことは何かを考え、様々な行事の企画・運営を行っています。また、先の能登半島震災のような大規模災害に際して、ボランティア活動や募金活動も行っています。

部活動：運動部14、文化部13があり、熱心に活動しています。各運動部では、水泳部が県新人大会200m背泳ぎで第7位に入賞し東北大会出場を果たしました。バドミントン部男子は県総体学校対抗戦でベスト8に入賞するなど多くの部が好成績を収めました。

文化部では、写真部が県高校写真展で団体第2位、個人では2023かごしま総文で奨励賞を受賞しました。他にも演劇部、理工部、美術部、写真部、書道部、茶華道部も県展などでさまざまな賞を受賞しています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R5	R4	R3
大学	15	13	17
短期大学	7	5	10
専各学校	42	64	63
就職(県内)	56	64	53
就職(県外)	2	5	5
その他	3	3	3
卒業生計	125	154	151

主な進路先(令和6年3月卒業生)、
 ()内は人数 (1)は省略。

<私立大学>

石巻専修大学(4)、尚絅学院大学(5)、仙台白百合女子大学、仙台青葉学院大学、東北学院大学(2)、宮城学院女子大学(2)

<短期大学>

修紅短期大学、聖和学園短期大学、仙台青葉学院短期大学(4)、山形県立米沢女子短期大学

<大学校・高等技術専門校・専修各種学校>

【工業分野】東北職業能力開発大学校(2)、花壇自動車大学校(4)、仙台デザイン(2)

【農業分野】宮城県立農業大学校、仙台 eco 動物海洋、東北動物看護学院(2)

【医療分野】仙台医療センター附属仙台看護助産学校、仙台市医師会看護学校、国際医療福祉大学塩谷看護専門学校、大崎市医師会附属看護学校、仙台医健・スポーツ(4)、仙台リハビリテーション(3)、専修大学北上福祉教育、東北保健医療、国際医療福祉一関校

【衛生分野】仙台ビューティーアート、仙台ヘアメイク、東北ヘアモード、宮城調理製菓

【教育・社会福祉分野】仙台こども(4)

【商業実務分野】仙台大原簿記情報公務員(2)、東京法律公務員仙台校

【文化・教養分野】仙台ウェディング&ブライダル(2)、仙台スイーツ&カフェ(3)

<公務員>

一関市一般行政

<民間就職>

YKK AP 東北製造所(2)、登米村田製作所、豊田合成東日本、エスビー食品宮城工場(2)、ウジェスナー(2)、迫りコー、日東電工、イル製造、ホテル佐助、山崎製パン、ライセンスアカデミー、高森ロマンホーム、栗駒峰寿会、大平昆布(2)、HOYA ペンタックスライファ事業部宮城事業所 他

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

写真部 2023かごしま総文



奨励賞受賞



奨励賞 作品名「奇跡」



作品名「貴方を想ふ札」

令和5年7月29日～8月4日に鹿児島県で開催された第47回全国高等学校総合文化祭(2023かごしま総文)に参加しました。写真部の全国大会出場は6年連続で、毎年優秀な成績を残しています。令和5年度は作品名「奇跡」が奨励賞(全国11位)を受賞しました。

生徒会執行部 コロナ禍終息祈願 夜空に輝く大輪の花火



10月の迫桜祭では、コロナ禍による制限なしの一般公開が4年ぶりに行われ、祭の成功祝いとコロナ禍終息を祈願して、後夜祭で花火を打ち上げました。生徒会執行部が中心となり、企画、募金活動、呼びかけと獅子奮迅の働きが見られました。



(2) 学校の主な行事

スポーツ大会

例年7月中旬に2日間にわたりスポーツ大会が開催されます。今年も「安全➕第一」をスローガンに、アリーナでは球技種目が、グラウンドでは綱引きや学年・クラス対抗リレーなどが行われます。

各クラスが工夫を凝らしたオリジナルのTシャツを着て熱戦を繰り広げる様子は、毎年圧巻です。

コロナ禍による制限も解除され、生徒たちは大きな声で精一杯の声援を送り、生徒皆が笑顔で熱戦を繰り広げました。

今年の目玉になる新競技は何か、また、総合優勝を飾るのは果たしてどの学年か。楽しみでいっぱいです。



迫桜祭

例年10月中旬に、2日間の日程で迫桜祭(文化祭)が行われます。初日は校内発表、2日目は一般公開です。

文化部のステージ・展示発表はもとより、各委員会や専門系も毎年趣向を凝らした展示発表を行っています。

コロナ禍も落ち着き、制限なしの一般公開となった今回は、模擬店も復活!3年次各クラスはそれぞれアイデアを出し合って迫桜祭を盛り上げるべく、模擬店運営に全力で取り組んでいました。

クラスパフォーマンスは、オリジナル動画での発表でしたが、どれも趣向を凝らした、抱腹絶倒の映像でした。

今年はどのような企画が飛び出するか、今から楽しみです。



(3) 制服紹介

平成13年開校時より現在の制服を制定しています。

男子はストライプのネクタイが、女子はタータンチェックのスカートと水色のリボンが、ともに高校生らしくさわやかな印象を与えています。

令和2年度からは女子の防寒対策などを考慮し、女子用スラックスを導入しています。女子でスラックスを着用している時は、ネクタイ着用も可としています。



(4) 施設紹介

2001年に開校した校舎です。中央にアリーナ(体育館)を置き、その周囲を口の字型に各教室が囲む、これまでにない独特な形状が特徴です。

若柳の田園に現れた、オーストラリアのウルル(通称エアーズロック)のような巨大な建物。それが迫桜高校の校舎です。



4 在校生からのメッセージ

生徒会長 佐藤 真希さん(中田中出身)からのメッセージ

中学生のみなさん、生徒会長の佐藤真希です。私から迫桜高校の特色と、私が入学してから感じたことを紹介します。

迫桜高校は県内でも珍しい総合学科の高校で、人文国際・自然科学の普通2系列と、福祉教養・情報ビジネス・アグリビジネス・エンジニアリング(機械・土木)の専門4系列から、生徒自身の興味・関心のある系列を選択することで、生徒一人一人の将来の目標を実現できる高校です。

私が迫桜高校に入学して感じたことは二つあります。

一つ目は系列選択までの期間が短いことです。職業ガイダンスや系列見学を通して、1年生の9月ごろに系列を決め、後期からは系列の勉強が始まります。なので、入学前から将来の進路について考えておくことをお勧めします。系列の授業は難しいですが、どの知識も身に付けて損はありません。頑張ってください。

二つ目は、学食がとても充実していることです。フライドチキンやフライドポテトという、ちょっとした小腹満たしから、菓子パンやチョコブラウニーといったおやつ、ラーメンやうどん、カレーライスや焼き肉丼までさまざまなメニューがあります。すべてのメニューが高校生に優しいワンコインで買えます。

中学生の皆さん、迫桜高校に入学して私たちと夢に向かってはばたいてみませんか。迫桜高校で待っています。